

～新聞記事紹介～

北小学校のことが掲載された、2つの新聞記事を紹介します。

＜韓国領事館との交流＞

11月29日(水)に行った、韓国領事館との国際交流の様子が、先日、中日新聞で紹介されました。

＜希望の鐘＞

校舎の南(ちょうど保健室の南になります)に、「希望の鐘」と呼ばれる鐘がついた塔が建っています。それは、北小学校の卒業生有志が寄贈してくださったもの。建てられた当時の新聞記事が見つかりました。毎年、卒業生が鐘を鳴らして、北小学校を旅立っていくのが伝統となっています。今年も、卒業式には、「希望の鐘」を鳴らして卒業していく6年生の姿を見たいと思います。

駐名古屋韓国総領事館の
関係者が11月29日、津島
市の北小学校を訪れ、韓国
語講座やダンスなどで交流
した。県内の領事館と交流
する市のプロジェクトの一

韓国総領事ら 児童と交流

津島・北小 歌やダンス一緒に楽しむ



児童の歓迎を受ける金総領事ら＝津島市の北小で

金総領事からは子どもたち
に文房具がプレゼントされ
た。児童たちは de la
による韓国の K-POP ダ
ンス教室に参加した後、金
総領事や日比一昭市長らと
ともに給食を味わった。
(吉田幸雄)

環で、金星秀総領事や韓国ダンスを教える名古屋市のアイドルグループ「de la」のメンバーらが参加した。

体育館で全校児童約180人の歓迎を受けた金総領事は「近くて近い国、韓国を紹介できることは光栄で楽しみ。興味を持ってもらうきっかけにしてほしい」と日本語であいさつ。韓国語講座に続き、両国の友好を願う歌を児童が合唱した。

聞

1990年(平成2年)4月9日(月曜日)

学校だより



昭和33年の卒業生有志が寄贈した「希望の鐘」

懐かしい鐘が復活

津島市北小学校の校庭に、このほど同市兼平町、金物店経営松岡由雄さん(会思ら同校を昭和三十三年に卒業した有志約四十人が、希望の鐘を建立し、寄贈した。

直径約五十センチのコンクリート柱四本を組み合わせ、タワー状にした高さ四・八メートルの塔の上部に直径二十五センチ、高さ二十センチの鐘をつるし、鐘の振り子にロープをつけて垂らし、自由に鳴ら

津島市北小

せるようになっていた。寄贈は昭和六十一年、数え四十二歳の厄年を終えた松岡さんが「役に立つことを」と、当時の小杉正校長(昨年三月定年退職)に申し入れたのがきっかけ。校長から「昔、始業、終業を告げる役割を果たしていた鐘が今は無用の長物と